南相馬市立鹿島中学校スローガン　「創造」「秀・和」「不屈」　～挨拶は　心の絆　挨拶で　心を磨く～

２学期スタート

感染症対策をしっかり

車輪梅

＜鹿島中学校　学校だより＞

【令和3年8月号】

《令和３年度重点目標》『品格を磨き　見通しをもって　粘り強く　共に高め合おう』

２学期スタート　テーマは感染症防止と行事の再構築・共に学び高め合う集団づくり

新型コロナウイルス感染拡大防止に係る「まん延防止等重点措置期間」中の２学期のスタートとなりました。この２学期は、「感染症防止と行事の再構築」と「共に学び高め合う集団づくり」をテーマに教育活動を進めてまいります。ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

＜第２学期始業式式辞より　抜粋＞

感染防止と行事の再構築

夏休み中、新型コロナウイルス感染拡大に歯止めがかからず災害級の事態をむかえたことから、８月２０日から９月１２日までの間、全国１３の都府県が「緊急事態宣言」の対象に、さらに福島県を含む１６県が「まん延防止等重点措置」の対象となりました。このような中での２学期のスタートとなります。２学期には文化祭や修学旅行、体験活動等の大きな行事が予定されています。昨年度、先輩たちがコロナ禍での新しい行事の在り方を示してくれましたが、皆さんには、昨年度の成果をふまえ、感染リスクを下げながら「こんな工夫をすれば、こんなことができるかもしれない」と、知恵を出し合い創造力を働かせて、さらにより良いものを目指してほしいと思います。

共に学び高め合う集団づくり

今夏のオリンピックは、日本選手団が史上最多５８個のメダルを獲得するなど、大舞台でアスリート達が限界に挑戦し、強豪と競い合う姿が輝いた大会でした。同時に、差別やいじめなど解決していかなければならない人権に関わる課題が浮き彫りになった大会でもありました。今大会から加わった新競技スケートボード女子パークでは、メダル獲得の最年少記録を更新するなど皆さんと同じくらいの若い世代のアスリートの活躍が注目されました。その中でも特に、難易度のより高い技に挑んで失敗した選手に対し、ライバル選手達が駆け寄って担ぎ上げる場面が印象に残りました。彼女達は、勝ち負けや敵・味方という概念を飛び越えて、互いを仲間として認め合い、挑戦することを称え合うという新しい風を長い歴史を持つオリンピックに吹き込みました。

私たちの学校、学年、学級そして部活動のチームにおいても、お互いが存在を尊重し合い、のびのびと自分の良さを発揮し、挑戦していくことが、それぞれの成長、集団としての成長につながっていくのではないかと思います。

コロナ禍で２学期も様々な制約がある中での学校生活ですが、そのような時こそ、鹿島中生全員の力を結集させて「共に学び、共に高め合う集団」をつくりあげ、成長の２学期、充実の２学期にしていきましょう。

相馬地方中学校英語弁論大会・中体連相双地区駅伝大会壮行会

相馬地方英語弁論大会（8月25日・さくらホール）

大会に出場する３名の皆さんは、夏休みの学習や他の活動との両立を図りながら、限られた時間を有効に使って練習に励んできました。練習では、発音を磨くだけでなく、どうしたら物語の内容や自分の思いが聞く人に伝わるかをよく考え、一つ一つの言葉や文を大切に、表現力を磨いてきました。大会当日は会場を包む雰囲気で緊張するかもしれませんが、これまで頑張ってきたことに自信をもって、発表を楽しんできてほしいと思います。





相双地区駅伝大会（9月1日・楢葉町総合グラウンド）

特設駅伝部の皆さんも、夏休みの学習や他の活動との両立を図りながら、この夏の猛暑そして雨にも負けず練習を積み重ねてきました。皆さんは練習を通して走力を高めるだけでなく、仲間の大切さやチームの中での役割の大切さも学んできていると思います。大会当日は、厳しいレース展開も予想されますが，そんな時こそ、一本のたすきをつないでいくチームワークを大切にし、一緒に頑張ってきた仲間を思い出してがんばってほしいと思います。





※カラー版を本校ホームページ上でご覧いただけます。